

科目ナンバリング		G-HUM35 50000 LJ38									
授業科目名 <英訳>		中国社会論 2 A Chinese History and Society 2A				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 助教 藤井 律之			
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	木4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名		東アジア文化論									
【授業の概要・目的】											
<p>テーマ：『梁職貢図』の研究</p> <p>中国には、いわゆる中華思想をもとに、その周辺国を「夷狄」と蔑視してきた歴史があるが、そうした「夷狄」から中国王朝に「朝貢」してきた使者の姿を描き、簡単な説明文を加えたものが『職貢図』である。そのうち成立が最も古いものが梁の蕭繹が作成させた『梁職貢図』であり、西はペルシア、南はインド、東は日本まで描かれている。もとより中華思想による潤色は含まれるものの、文献史料が少ない当該時期の他地域を理解する上で、貴重な情報を多く含むものでもある。</p> <p>本講義では『梁職貢図』の各テキストを比較し、関連史料もあわせて紹介して内容を検討する。あわせて当該時代の社会状況、対外関係を整理し、中国とその周辺地域への理解を深めることを目的とする。</p>											
【到達目標】											
『梁職貢図』の構造と内容について理解したうえで、6世紀ごろにおける東部ユーラシアの状況を把握する。											
【授業計画と内容】											
<p>授業計画と内容</p> <p>基本的に以下のプランに従って講義を進める。</p> <p>第一回 梁職貢図とは</p> <p>第二回 梁職貢図の各テキスト</p> <p>第三回 梁職貢図の作者とその時代</p> <p>第四回 梁職貢図の構造</p> <p>第五回 内容の検討(1)</p> <p>第六回 内容の検討(2)</p> <p>第七回 内容の検討(3)</p> <p>第八回 内容の検討(4)</p> <p>第九回 内容の検討(5)</p> <p>第十回 内容の検討(6)</p> <p>第十一回 内容の検討(7)</p> <p>第十二回 内容の検討(8)</p> <p>第十三回 内容の検討(9)</p> <p>第十四回 内容の検討(10)</p> <p>第十五回 まとめ</p>											
----- 中国社会学論 2 A(2)へ続く -----											

中国社会論 2 A (2)

**【履修要件】**

特になし。

**【成績評価の方法・観点及び達成度】**

講義内容の理解度を確認する小テストと定期試験の点数によって評価する。  
小テスト...20点、定期試験...80点とし、60点以上を合格とする。

**【教科書】**

授業中に指示する

**【参考書等】**

(参考書)  
授業中に紹介する

**【授業外学習(予習・復習)等】**

授業中に指示する。

**(その他(オフィスアワー等))**

歴史はもちろんのこと、絵画に関心のある方も是非どうぞ。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。